

その他の活動報告



遠山清彦衆議院議員と
県自動車整備工業協同組合の総会に参加



城南校区 長寿祝賀会で祝辞



新年街頭演説 元旦より政策を訴える。



成人の日街頭演説 新成人へエールを送り青年政策の中から授業料の無償化や給付型奨学金の拡充を訴える。



その他、詳しくは【前田のりよし公式Webサイト】【熊本県議会ホームページ】をご覧ください。

前田のりよし公式Webサイト

熊本県議会ホームページ

前田のりよし「誠心誠意」公式ウェブサイト
http://maeda-noriyoshi.net/



住所：熊本市南区南高江6丁目19-44
連絡先：県議会公明党096-333-2645／携帯：090-1871-6631
Email：maeda@komei-kumamoto.jp
Facebook：https://www.facebook.com/noriyoshi.maeda.3
Twitter：https://twitter.com/noriyoshi_maeda

熊本県議会議員

前田のりよし 議会News

Vol.13

ごあいさつ

寒い日が続いていますが、皆様にはお風邪など惹かれていませんか。日頃から、前田のりよしへのご支援に対し、深く感謝申し上げます。平成30年は熊本地震から2年の年です。これまで被災者の方々からお聞きしたお声を議会や県政へ要望してまいりました。液状化等の宅地被害への対策、住まいの再出発への対策等、県の復興基金の活用や国への要望活動を行ってまいりました。少しずつですが一軒一軒と再出発への道筋が示される段階になりました。これからも、すべての皆様が元の生活に戻るまで全力で取り組んで行く事をお約束致します。ここに、直近の県議会活動状況をご報告させていただきます。

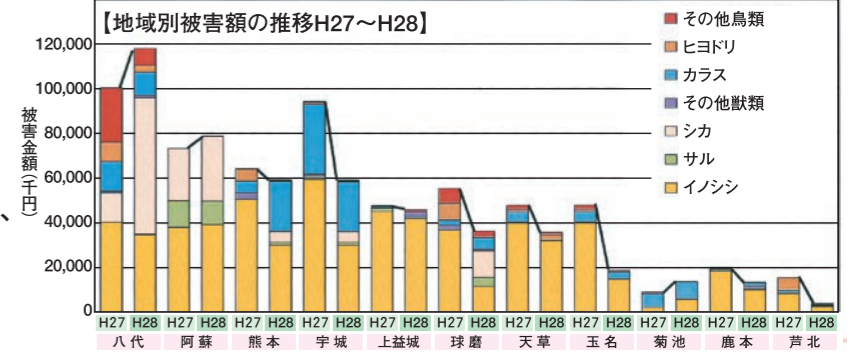


議会報告

～農林水産常任委員会での質疑～鳥獣は増えている!?

Q:野生鳥獣による被害の現状と対策について

A:平成28年度の鳥獣による農作物被害額は、5億円となり、前年度よりも6千6百万円程減少(△12%)。地域ぐるみで「えづけSTOP!」に取り組み、侵入防止柵の設置等で効果が図られた。一方、イノシシの頭数はほぼ倍増し、民家への被害が懸念されている。～イノシシの繁殖力は高く、地元自治体とも連携し、早急な対策を要望する～



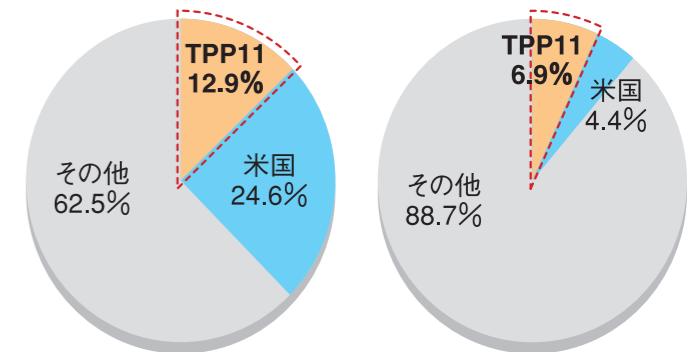
Q:TPP11協定の概要及び合意概要について

A:県への影響を十分に考慮し、早期の情報発信と対策に努める。

- ◎ [包括的及び先進的な環太平洋パートナーシップ協定【TPP11協定】]交渉の大筋合意(平成29年11月10日)により、世界のGDPの12.9%、人工の6.9%を占める経済圏が設立されることとなった。大筋合意では、従来のTPP協定のうち、知的財産分野を中心とする20項目について、米国離脱中には適用しないこと(凍結)を決定。
- ◎ 農産物等関税分野は従来の内容を維持されており、日本が輸入する際は、コメで豪州向けの国別枠の設定、牛肉や豚肉の関税削減等となっている。日本が輸出する際は、牛肉、水産物等、ほぼ全ての農林水産物で関税撤廃、自動車等工業製品で、99.9%の品目の関税撤廃を実現。

【世界に占める割合】

[GDP] 12.9% (TPP12: 37.5%) [人口] 6.9% (TPP12: 11.3%)



石井啓一国土交通大臣と被災地を視察

熊本地震からの復興状況を石井大臣が視察。同行し地元の首長と意見交換、更なる要望を聞き早期復旧への道筋を確認。



国道57号線北側
復旧ルート「二重峠トンネル」



二重峠トンネル内で工事状況を聞く



大規模な斜面崩落で寸断された
阿蘇大橋の架け替え工事現場



クルーズ船専用ターミナル整備着手の八代港の状況

復旧過程の熊本城大・小天守閣、飯田丸五階櫓を視察。現場は想像以上に深刻な状況ですが、関係者の懸命な取り組みで復興へ着々と進んでいます。来年には、大天守閣への入場、復旧の状況を見れる見学ルートも検討されています。その後、八代港へ!!
クルーズ船年間200隻入港を目指し、国の支援で旅客ターミナルを建設する予定地を視察。石井大臣は復旧へ向け全力でバックアップする事を約束、我々地元議員は今後も更なる連携をして行きます。



熊本城、飯田丸五階櫓と天守閣の復旧工事現場

各地で県政報告会を開催

昨年より定例の報告会に加え西区・南区の校区毎での県政報告会を充実して参ります。地域の皆様からじっくりと意見を聞き、「前田のりよし」を更に知って頂きます。



定期的に藤永市議、浜田市議と連携し、各地で県政報告会を実施し、復興への支援策等をお話しました。



再生可能エネルギー研究会で視察

沖縄県久米島での海洋深層水を利用した、発電事業とその電力を利用した温度管理化での海ぶどう・農作物の栽培実験を視察しました。再エネアイランド～九州～としてのポテンシャルの高さと可能性を実感。今後の政策立案へ役立てます。



海洋温度差発電の実証設備



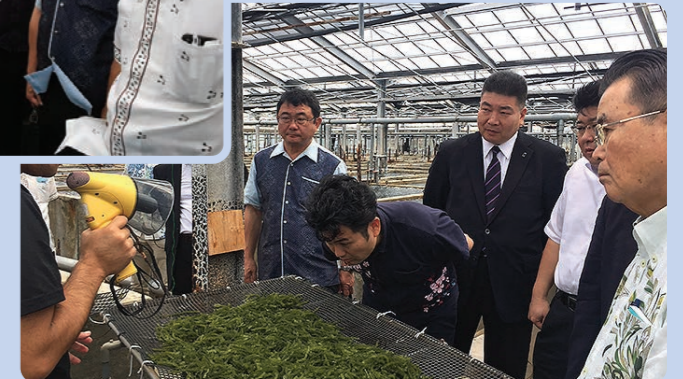
レクチャーの様子



実証実験棟で



ほうれん草畑



海ぶどうの栽培棟

被災地を訪問



長期避難が続き、村の中でも地域が寸断された南阿蘇村立野地区を訪問。避難解除にはなったものの、水道や電気、地域のコミュニティの問題等現場の意見・要望を聞く。



熊本市内でも多くの避難住民が暮らす、南区城南町舞原仮設住宅を訪問し、みんなの家(集会所)にて行政の支援策と現場の方々の意見調整、今後の課題や意見を聞く。



西原村仮設住宅で今後の住み替え等の要望を聞く。